

2015年8月6日

保有ビルへの保育所誘致の取組みが 「第9回キッズデザイン賞 キッズデザイン協議会会長賞」を受賞

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)の「保有ビルへの保育所誘致取組み」が、『第9回キッズデザイン賞^(※) キッズデザイン協議会会長賞』を受賞しました。

当社は、DSR(Dai-ichi's Social Responsibility: 第一生命の社会的責任)経営¹の一環として、「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を社会貢献活動の中心取組テーマに掲げ、社会課題の解決に取り組んでいます。

このうち「豊かな次世代社会の創造」に向けた取組みの柱である「保有ビルへの保育所誘致」は、保育所入所待機児童問題の解消に向け、業界初の試み(当社調べ)として 2011 年度より取組みを開始したものです。当社保有ビルでの全国待機児童数(2011年4月時点)の約1割に相当する2,500名の児童受け入れを目指し、順次整備を進め、これまでに13ヶ所、約650名定員の保育所を誘致・開園しています(下表参照)。

本取組みが待機児童の解消に貢献するとともに、出産後の女性の社会復帰を促し、女性の活躍を推進することにつながることも評価され、今回の受賞に結びついたものと考えています。

[審査評(キッズデザイン協議会 ホームページより抜粋)]

待機児童解消への障壁のひとつに、保育所ニーズが高い住宅地等に物件が少ないという状況がある。国内有数の不動産所有企業である第一生命が自社物件に保育所を積極的に誘致し、子育て夫婦が働きやすい環境創出に貢献している。同社は職員の女性比率が9割を超える企業でもあり、待機児童問題に対して高い意識を持っている。社会的ニーズの高いエリアへの保育所誘致はまさに子育て環境の質の向上に寄与するものとする。

当社は今後も、「お客さま第一主義」という経営理念のもと、社会的責任を果たしていき、グループビジョン「いちばん、人を考える会社になる」の実現を目指していきます。

(※)キッズデザイン賞の概要

「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」

ための製品・空間・サービスで優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的とした顕彰制度

(主催:キッズデザイン協議会、後援:経済産業省、消費者庁)。



¹「DSR」とは、一般的なCSR(企業の社会的責任)という言葉の枠に収まらない当社独自の経営の枠組みについて、「DSR=Dai-ichi's Social Responsibility (第一生命グループの社会的責任)」と表現したものです。

【保育所誘致実績(2015年8月時点)】

物件名	所在地	定員	保育所名
幕張テクノガーデン	千葉県千葉市	59	アスク海浜幕張保育園
中野本町第一生命ビル	東京都中野区	33	幼保園ベビーサロン 新中野
大森ベルポートE館	東京都品川区	90	アスク南大井保育園
新高円寺第一生命ビル	東京都杉並区	28	ピノキオ幼児舎 新高円寺園
田端ASUKAタワー	東京都北区	40	ポピンズナーサリースクール田端
東京スクエアガーデン	東京都中央区	30	キッズスクウェア 東京スクエアガーデン
練馬桜台分室	東京都練馬区	15	ポピンズ保育ママルーム桜台
神戸垂水分室	兵庫県神戸市	20	社会福祉法人陽光会 たけの保育園 そら分園
第一生命三鷹ビル	東京都三鷹市	70	ポピンズナーサリースクール三鷹南
第一生命百合ヶ丘ビル	神奈川県川崎市	61	ポピンズナーサリースクール百合ヶ丘
昭和町分室	大阪府大阪市	120	あい保育園昭和町
大森分室	東京都大田区	37	ローリスナーサリー大森
鎌倉第一生命ビル	神奈川県鎌倉市	50	うちゅう保育園かまくら
合計		653	

〔表彰式の様子〕



〔表彰状〕

